

『国際ビジネス研究』の編集状況

国際ビジネス研究学会 第23回全国大会

2016年10月23日(日)

横浜国立大学大学院 環境情報研究院

周佐 喜和

報告目次

- 1. 『国際ビジネス研究』が募集する投稿
- 2. 投稿／採択の状況
- 3. 編集委員会での審議プロセス

1. 『国際ビジネス研究』が募集する投稿

投稿する際に、どちらのジャンルなのかを選択

- 投稿規程からの抜粋

2. 投稿できるジャンルは、以下の2つとする。

- ① 論文(Article): 国際ビジネスに関する、学術研究にふさわしい厳密さとの確さを有するオリジナルな著述で、問題提起・方法論・分析結果とその理論的考察・明確な結論を備えたもの。理論的、実証的、または方法論的に、本学会の学術研究の発展に貢献するもの。
- ② 研究ノート(Research Note): 先行研究を多数引用し、それらの成果や問題点について解説したもの。または、独自の調査やオリジナルな個別事例についての結果・報告で、国際ビジネスの研究を進めていく上で資料的価値を認められるもの。

年報から学会誌に変わった2008年に、投稿規程も変更

「論文」と「研究ノート」の違いは

- 投稿規程作成時の意図
＝「論文」の完成度の低いものが「研究ノート」ではない。
 - 「論文」の構成要素の中の一部を強調したものが「研究ノート」
 - ・・・文献サーベイ または 調査結果に特化
 - ・・・他の部分は圧縮して構わないし、その方がむしろ望ましい

投稿者と査読者へのお願い

- 「論文」と「研究ノート」のジャンルを意識した執筆と審査のお願い
 - 研究成果のまとめ方の違い
 - 一定の成果が出せそうなら、「研究ノート」として早めに投稿する先述
 - 審査とコメントを出す観点の違い

2. 投稿／採択の状況

投稿／採択状況

- 投稿数は各号平均15本、採択数は各号平均7本
- ただし、〇号に投稿、修正に時間をかけて〇+1(または2)号に掲載となった分は除く
これを入れると、採択率はもっと高くなる
- 論文として投稿、査読者のコメントにより「研究ノート」として書き直しになった分を含む
- 採択率では、教員 > 院生の傾向あり

3. 編集委員会での審議プロセス

『国際ビジネス研究』の審査プロセス

- 1) 第1回編集委員会：担当委員と査読者2名を決定
- 2) 査読者2名による審査
- 3) 第2回編集委員会：査読結果を踏まえ、掲載可否を判断
- 4) 査読者2名による再審査：実際にはこうなるケースが多い
- 5) 第3回編集委員会：再査読結果を踏まえて、掲載可否を判断：ここで掲載が決まることが多い

審査プロセスについての補足(1)

- 編集プロセスで行われていること
 - 1) 投稿は、ほぼ査読者に回す
 - ・・・編集委員(委員長)が、いきなり掲載否と決めることは極めて稀
 - 2) 掲載可否の判断は、査読者のコメント文の内容を精査して慎重に判断
 - ・・・一名の査読者が掲載否と判断すれば、自動的に掲載否にするわけではない

審査プロセスについての補足(2)

3) 投稿者へ長期戦を勧める場合あり

- ・・・本質的な部分で修正を迫られた場合、修正事項が多岐に渡る場合、時間をかけて大幅修正・再投稿を勧めることがある

＝短期間で無理な修正を試みるより、掲載への近道になりえる